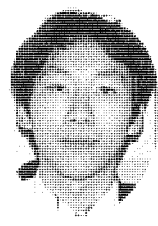


節目を迎えた代表者の抱負

成人 恒暉会

会長 安達 淳



二十一世紀の幕明けのこの年に、私達恒暉会は成人という節目の年を迎えました。年明けから、成人としての最初の行事である賽の神が15日に行なわれました。68名という少人数で、しかも平日ということもありまして、不安と戸惑いばかりでしたが、皆様のおかげで無事成功させることができました。これも諸先輩方、町民の皆様、関係者の方々の御指導御協力の賜ものと申し上げます。心からお礼申し上げます。

四十二歳 双葉会

会長 安部 恒



去る1月15日には、多くの町民の皆様のご協力のもと、42歳厄払いの神事や福餅まきを無事終了させていただきました。会員一同、心からお礼申し上げます。

五十歳 にれ会

会長 浅田 保



子供の頃は遠い未来だつた二十一世紀……。五十歳という人生節目の年を二十一世紀の幕開けで迎え、身の引き締まる思いがします。また年月の流れる速さを感じて

還暦 仲友会

会長 黒崎庄之輔



歳を取るの早いもので六十歳の節目を迎え年金をもらえ年歳となりました。昨年一年は世の中は目まぐるしく私達の年齢になる

なにしよ話し

若杉会は3年前、還暦を迎えるにあたり、そつと健康が第一、何かをやるよ、ということだ、毎月一回希望者を募り、歩け歩けを実施しているが、ナント、あの大雪山の最初の1月14日に、今年

の初歩きを実施した。目的先はちぢみの里、距離は10km少々で、若杉会が毎回歩く距離程度で、ちよどよよかっ た。ところが、当日集まった14名、集合するや「あまりにもごきげな雪であるので、交通安全を考慮して本町までバスでこつと」衆議一決。流石若杉会、まとまりがいい。バスはやはり早い。大雪であったが、少し遅れただけで本町に着き、他のお客さんが降りるために停車した。なに、若杉会の一歩、誰も席を立ち、誰かが「勇

厚く御礼申し上げます。今井宮司様のお話では、この時期は社会、職場、家庭などで重要な役割を任せているか、と世の中が自分を中心に回転しているかのよう、と錯覚しがちである。このように、おごつと身を慎み健康に留意しながら、過ごさないという教えを、身にしみいるお話を、会員一同、良き教訓にしたいと思ひます。

さて、秋季大祭では思い出に残る良き煙火奉納が、きまますよう、会員一同心を一つにして、楽しみながら準備を進めたいと思ひます。町民の皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたし

最後に、二十一世紀最初の年が、皆様にとりまして明るく幸の多い年となることを心よりお祈り申し上げます。

私達にれ会は、サンフランシスコ平和条約が結ばれた昭和二十六年、二十七年に生まれ、中学校卒業はベトナム戦争真っ只中の昭和四十二年です。

昭和 平成と時代の移り変わりの中でここまでこれたのは、多くの方の御支援御指導の賜ものと深く感謝しております。

秋季大祭に向けては、昨年より「ミレニアム記念撮影」「花見観賞とバイオリ

ン調べ」「尾瀬沼ハイキング……」など、様々な催しを行い親睦を計っているところだ。二十一世紀幕開けの五十歳記念行事を、楽しく心に残るものにした

と思います。町民の皆様には何かとお世話になりますが今後とも直しくお祈りいたします。

この催しは12月1日から31日までの一カ月の年末キャンペーンで、新定期預金毎に抽選券、主食用米購入に、Aコープ店で現金買

物に、JA給油所でのガソリン、軽油に補助券を発行して、補助券5枚で抽選が

現在に少子化の時代です。私達片貝町中学校第十回卒仲友会が現在会員数六百

十一名で二〇〇一年の輝かしい新しい歳に還暦を迎え片貝町においても又家族の

為にもこれから人生を歩いていきたいと思います。

私共のいままでを振り返ってみますと、昭和十六年、十七年の生まれで第二次世界大戦の真只中で、混乱の

とき生まれました。その後時代の流れは早く現在に不況にもかかわらず豊かな幸福な時代と成りま

した。秋季大祭を節目として煙火を奉納して会員一同の健康を祈願したいと考えてお

ります。これからも町民の皆様

ベルマークを集めま〜す

片貝小学校では子供と保護者が協力してベルマーク収集活動を展開しております。町民の協力を広く呼びかけています。

ベルマークは一点一円になり、今までに数隊隊のユニホームや3年生以上の各クラスにキーボード等様々な教材が子供たちのために購入されている。

平成12年は皆さんの協力により、十九万九千八百九十八点の成果となりました。今年も引き続き皆さんのご協力をお願い致します。

「ベルマークはノート類、写真フィルム、カセットテープ、ラメン、焼ソバ、カップスープ、キャンデー、ガム、チョコ

レット、ポテトチップス、マヨネーズ、トナリ、ポテトチップス、マヨネーズ、トナリ、ポテトチップス、マヨネーズ、トナリ

ベルマークはノート類、写真フィルム、カセットテープ、ラメン、焼ソバ、カップスープ、キャンデー、ガム、チョコ

片貝 ヒューマンウォッチング

初孫にメロメロ 友田ムツ子さん

四之町の友田ムツ子さん(54)に登場いただきたい。昭和38年から市職員となり、昨年4月に市民生活課の課長補佐となった。片貝町から市役所に通う



夫の明石氏は言わずと知れたJA片貝町の組合員。ムツ子さんは、市役所の中で女性管理職は2人しかおらず、そのうちの1人である。今までは木工、会計、ガス水道局など多数の部署を経験したが、最も長かったのは片貝支所だ。昭和45年4月から54年10月まで9年半在職、片貝支所の歴史の中で、最も長かったのは、市生活課については「とにかく開口の広い課」と

話す。ゆりかごから墓場までの各証明書の発行窓口であり、他に年金、健康保険、交通、ゴミ、環境問題など実に幅広い仕事を担っている。特にプロ野球と大相撲の「生」観戦である。夫は大のジャイアンツファン。ムツ子さんもジャイアンツファン。ムツ子さんは、市役所の中で女性管理職は2人しかおらず、そのうちの1人である。今までは木工、会計、ガス水道局など多数の部署を経験したが、最も長かったのは片貝支所だ。昭和45年4月から54年10月まで9年半在職、片貝支所の歴史の中で、最も長かったのは、市生活課については「とにかく開口の広い課」と

狂として有名であるが、出来て、喜んでもらえた。その影響からか、ムツ子さんも今やすっかりジャイアンツファン。昨年も稲荷町から片貝町の住人となった。若い頃はスポーツで汗を流した。スキー、卓球、ソフトボール、バレーボールと本人も観戦しており、長嶋監督が中に舞う感動の瞬間も十分に堪能出来た。ジャイアンツの日本一の瞬間を目の当たりにしたのは、これで2回目というから驚きだ。さらに、現在ダイエー監督の王貞治氏が現役で、756号を打った歴史的瞬間も後楽園球場にいた。あの時の感動も忘れられない、と語る。大相撲にも年2回は出かけている。

片貝町人となって既に30年以上たっているが、片貝まつりについて尋ねると「何と言つてもうなる」とメロメロの状態と「何と笑いな言なつた」と。写真「彩斗ちゃん」と

ハローベイビー

マア奈津子さん(32才) 第1子長男 平成11年12月18日生 現在の体重9.7kg身長73cm



Q お子さんの様子 A 食欲旺盛で、人一倍活発です。今はマイクを使つて、Q どの子に育つて欲しいですか A 礼儀正しく、協調性のある子に育つてほしいです。

お詫びと訂正

正月号「ハローベイビー」で、吉井慎悟ちゃん取り違え、文章欄と逆の場所に掲載してしまいました。ご家族をはじめ大勢の方、そして読者の皆様にも迷惑をおかけしましたことを、ここに

池津出身の勝又氏死去

池津出身の勝又氏(本名三郎、七十歳)が去る1月15日死去された。勝又氏は昨年12月20日頃より体調を崩し、1月7日から長岡日赤病院

小千谷の俳句会の重鎮

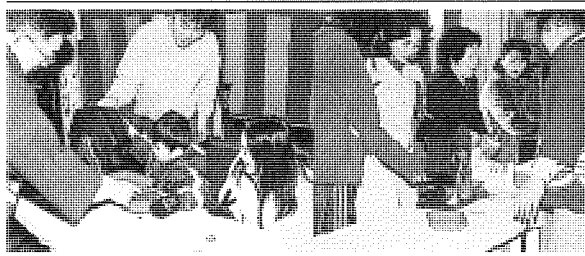
千谷市主催の文芸おぢやなどの俳句の重鎮として活躍されてきた元中子の勝又水仙さん(本名三郎、七十歳)が去る1月15日死去された。勝又氏は昨年12月20日頃より体調を崩し、1月7日から長岡日赤病院

花守賞受賞 昭和45年風同人

昭和45年から花守の発行所となつており、東小千谷俳句同好会の指導者や文芸おぢやを始め各種俳句会等の選考として活躍されてきた。去る1月17日セントラス

お詫びと訂正

「お詫びと訂正」欄は継続してまいり所存です。小紙にこの一報下さるよう、ご協力をお願いいたします。



JA片貝町の年末抽せん会。JA片貝町(友田明石組)では昨年12月30・31の二日間「年末感謝キャンペーン抽せん会」を実施した。

この催しは12月1日から31日までの一カ月の年末キャンペーンで、新定期預金毎に抽選券、主食用米購入に、Aコープ店で現金買

物に、JA給油所でのガソリン、軽油に補助券を発行して、補助券5枚で抽選が

現在に少子化の時代です。私達片貝町中学校第十回卒仲友会が現在会員数六百

十一名で二〇〇一年の輝かしい新しい新しい歳に還暦を迎え片貝町においても又家族の

為にもこれから人生を歩いていきたいと思います。